

# うえるうえる

Well Well

第7号



紫のアジサイ  
山野恵美子さん



ピンクのバラ  
木下千恵子さん

6月9日～6月12日  
第一回坂井瑠実クリニック  
フラワーアレンジメント作品展  
が開催されました!!

院長、スタッフ、透析患者さん達、十数名の作品の中には、院内最高齢の木下千恵子さんのピンクのかわいい作品や、本人手作りの竹材工の花器をつかった山野恵美子さんの作品もあり、色とりどりの個性輝く作品が1階フロアをうめつくし、多くの人々の心を和ませてくれました。6月10日には、なんとNHKの取材を受け、夕方のニュースで放映されました!! 「次回は、もっと大きな作品展を開きたい!!」と皆さん意欲満々です。

以後、乞う御期待!!

V<sup>2</sup> フラワーアレンジメントでお世話いただいている、浜田良子先生が、第1回目に続き第3回フラワーマスターズでグランプリを受賞されました。



取材現場

医療経済的に言えば、診療所で入院ベッドを持つ事そのものが無謀なことといわれていますが、透析施設にはどうしても入院ベッドがいると思ってやってきました。診療所の入院の診療報酬は驚くほど低く、薬も検査も全部ひっくり返して(透析は別)療養型で入院一日約8000円。このたびの改装に当たって、入院施設をやめることも考え悩みましたが、この高齢化時代、坂井瑠実クリニックの患者さんのためには入院ベッドが要ると、採算度外視で決断しました。でも入院しないのが一番です。今の機能を少しでも落とすことがないように運動、リハビリに一生懸命心がけて下さい。

今入院して悪循環を断ち切りたいと思っているAさん、何とか自宅で頑張ってください。  
血圧の高いBさん、ドライウエイトを下げるのをいやがらずに安全な血圧でいて下さい。Cさん、そんなに毎日体重オーバーでは心機能がダメになりますよ。一人暮らしで食べることに、通院にも支障を来しているDさん、今しばらく待って下さい。気候が安定しないせいかこの頃救急で飛び込んでこられる方が多いように思います。せめてこの間、一層自己管理をして、体調よく、元気に通院して来て下さい。

クリニックの改装中はご迷惑をおかけしました。  
ご承知のように3月にハイム御影の閉鎖を決めてから日夜院内の改装に向けての作業を行ってきました。改装が経費的にも、工事的にも、期間的にも、こんなに大変なことは想像もしていませんでした。例えば病室にする4階に、今病棟にある酸素、吸引等のメデイカルコンソールと、ナースコールを移設するだけで1500万、透析機械室に透析水の水温を上げるためのガスを引き込むのに445万、用途変更のための改装費1500万、11床増やして15床になる新透析室関連が3000万、eic締めて??  
昔から新築に比べて改装にはお金がかかる言われていますが、なるほどパニックになりながら実感しています。通院の患者の皆様方、病室はしばらく十分機能しませんので、入院がいらぬようお願いいたします。



坂井瑠実クリニック院長  
坂井 瑠実



# スプリングセミナー『在宅透析』に参加して

## 第4回 患者会総会のご報告

臨床工学技士 小西秩英子

坂井瑞実クリニック患者会「友愛会」 会長 村井 正利

今年のセミナーは患者さんの強い希望により在宅透析をテーマに開催されました。意外に関心が多かったのには驚きました。ひとつには、数ヶ月前の新聞に家庭用透析の水処理装置が掲載された影響があるかもしれません。

私自身、在宅透析は田舎の方で通院に困難な患者さんがするものだと思っていたし、正直なところこの阪神間では在宅透析に携わることはないだろうと思っていました。ほとんど無知の状態でしたので大変勉強になりました。何と言っても家庭透析をすることにより家族との時間が多く持てる、これが一番でしょう。また、通院にかかる時間がなくなります。そして、体に負担がないゆつくりとした透析が実現し予後が向上すると思われれます。

臨床工学技士の立場からすると、最近の装置はほとんど故障しにくいのが故障するときは突発性のことが多いので使用する装置には自己診断機能はもとより、シンプルな操作性、自動回収、ワンタッチ補液など機能が備わったものが理想と思われれます。一番の問題点として介護者の理解であり、また介護者の協力が高齢、病気などで得られなくなつたときです。(介助者の内訳として妻、親、夫、兄弟順)課題はあるとしても、今回来ていただいた方は兵庫県在住であり、当クリニックの患者さんにおいても希望があれば実現できるのではないのでしょうか。



平成15年5月11日午後1時より東部在宅障害福祉センター2階多目的ホールに於いて、二〇〇三年度友愛会第4回定期総会を開催しました。当日はあいにく雨模様でしたが99名(委任状出席を含む)の出席を頂き盛況の中で開催しました。

まず昨年4月から本日まで10名の方が亡くなられて、出席者全員でその方達のご冥福を祈り黙祷を捧げました。その後議長に伊丹様 書記に竹内様を選出させて頂き、議事次第に従って議事の確認拍手をもって承認されました。

今年度の活動方針は前年度活動方針に沿って3項目を踏襲し、継続活動していきます。一つは患者会と病院スタッフの意見交流を図るため親睦会・懇談会・勉強会等を開催します。二つ目は私達患者を取り巻く環境は益々厳しくなりつつあります。安定した透析を受けるためには組織力をアップする必要があります。

其の為に未加入者の方々に「友愛会」加入の必要性を説明し入会を勧めていきたいと思えます。私達幹事も未入会の方には入会をお願いしますが、皆様方にも身近に未加入者がおられましたら是非入会のご案内をお願い致します。

三つ目は昨年NPO法人を取得しました「ジャスミン」を支援していきます。

「ジャスミン」の活動内容は皆様もご承知ですが、ボランティアでマイカー及び福祉車両で体の不自由な方・高齢の方の送迎支援をお願いしています。

当院では60歳以上の患者さんが既に48%も居られ、将来加齢と共に「ジャスミン」のお世話になる潜在性もあるかと存じます。支援活動費用も小額のため、できれば皆様と共に賛助会員(会費千円/年)として協力させて頂き、この会との共存性を育んでいきたい所存です。

以上の活動方針に沿って幹事一同努力してまいりますので、会員の皆様・院長先生はじめスタッフの皆様今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、院長先生・スタッフの皆様休日にもかかわらず午前には透析導入初期の方や保存期治療の患者さん向けの勉強会、又総会後には在宅血液透析勉強会など有意義な集いに対し感謝と共に御礼申し上げます。

併せて出席の皆様にも雨の中ご足労願ひ有難うございました。

### 栄養ミニクイズ

コレステロールは体にとって必要なもの?

栄養科担当 野口